



マイクロソフト社の仕様変更による影響について - EFSW セキュリティアラート非表示 (batファイル) -

Ver 1.0

2021年2月5日

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

マイクロソフト社の仕様変更により、ESET製品をご利用のお客さまは2021年以降、「モジュールアップデートができない」、「プログラムが動作しない」等の現象が発生し、マルウェア感染など重大な問題が発生する可能性があります。

影響を受ける環境については、「問題が発生すること」、「必要な対応を期限内に実施すること」を認識していただくため、ESET製品の画面でセキュリティアラートが表示されます。

つきましては、本件に関する弊社Webページをご確認いただき、OSのアップグレード・プログラムのバージョンアップの実施をお願いいたします。

- ・ **【重要】** マイクロソフト社の仕様変更に伴うESET製品のバージョンアップについて
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/17411?site_domain=server
- ・ 「新しいバージョンがあります」のセキュリティアラートが表示される
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/17657?site_domain=server

目次



- セキュリティアラートについて
- セキュリティアラートを非表示にする手順
- セキュリティアラートの非表示

セキュリティアラートについて



- 影響を受ける環境をご利用の場合に表示されるセキュリティアラート
 - ・ 「SHA-1証明書の利用終了」、「クロス証明書の利用終了」のいずれかの影響を受ける環境をご利用の場合、ESETの画面上で以下のセキュリティアラートが表示されます。



表示直後は黄色です。
対応がされていない状態が続くと**赤色**に変化する可能性があります。

セキュリティアラートに記載されているWebページご確認いただき、必要な対応をお願いいたします。

【重要】 マイクロソフト社の仕様変更に伴うESET製品のバージョンアップについて

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/17411?site_domain=server

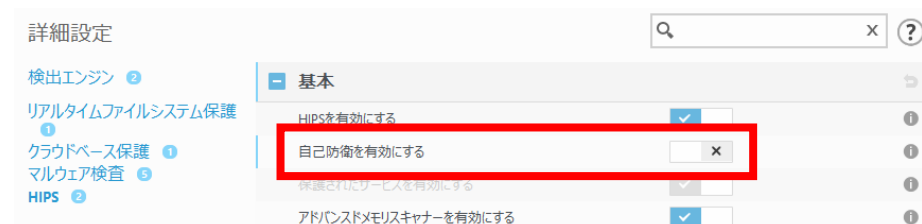
セキュリティアラートを非表示にする手順



● 利用条件の確認

- **管理者権限で実行**できること
- **自己防衛機能が無効**であること

1. 基本画面を表示し、キーボードのF5キーを押下します。
2. 詳細設定画面左の「HIPS」をクリックし、「自己防衛を有効にする」が無効になっていることをご確認ください。



- インストールされたコンポーネントに記載されている
「設定モジュール」が「1889.6」以降になっていること

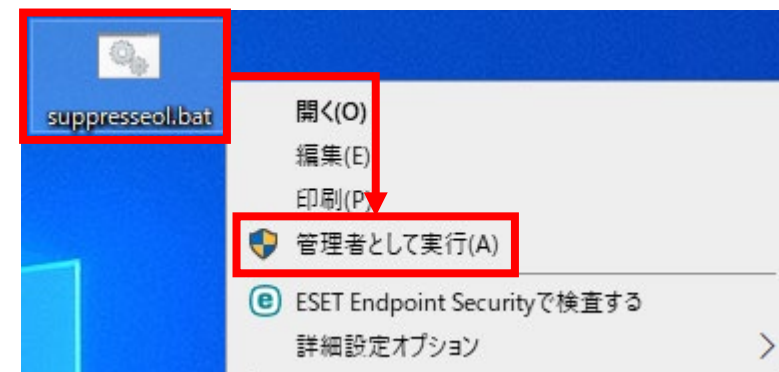
1. 基本画面を表示し、画面左の「ヘルプとサポート」をクリックします。
2. 画面右の「ESET File Security for Windows Serverについて」をクリックします。
3. インストールされたコンポーネントの一覧から「設定モジュール」が「1889.6」以降になっていることを確認してください。

インストールされたコンポーネント		
コンポーネント名	バージョン	ビルド日
検出エンジン: 22298 (20201110)	22298	2020/11/10
Rapid Responseモジュール: 17245 (20201110)	17245	2020/11/10
アップデートモジュール: 1021 (20200218)	1021	2020/02/18
ウイルス・スパイウェア対策検査機能: 1566.4 (20201006)	1566.4	2020/10/06
アドバンスドヒューリスティック機能: 1203 (20201015)	1203	2020/10/15
アーカイブサポート機能: 1310 (20201029)	1310	2020/10/29
駆除機能: 1214 (20200921)	1214	2020/09/21
アンチステルスサポート機能: 1168 (20200908)	1168	2020/09/08
ファイアウォールモジュール: 1411.3 (20201019)	1411.3	2020/10/19
ESET SysInspector機能: 1280 (20201022)	1280	2020/10/22
翻訳サポート機能: 1829 (20201030)	1829	2020/10/30
HIPSサポート機能: 1402 (20201009)	1402	2020/10/09
インターネット保護機能: 1410.1 (20201106)	1410.1	2020/11/06
Webコンテンツフィルタ機能: 1078.1 (20201109)	1078.1	2020/11/09
アドバンスド迷惑メール対策機能: 7864 (20201027)	7864	2020/10/27
データベース機能: 1110 (20190827)	1110	2019/08/27
設定モジュール (39): 1889.6 (20201020)	1889.6	2020/10/20
LIVEGrid通信モジュール: 1079 (20201028)	1079	2020/10/28

セキュリティアラートを非表示にする手順

● suppressseol.batの実行

1. suppressseol.batを右クリックし、管理者権限で実行します。
2. コマンドプロンプトが起動し、セキュリティアラートを非表示にする処理が行われます。
3. **この操作を正しく終了しました。**
と表示されていることを確認し、Enterキーを押下してください。



成功例

```
C:\WINDOWS\system32>echo off
Checking for admin privileges
Disabling EOL messages
この操作を正しく終了しました。
この操作を正しく終了しました。
EOL messages has been disabled
Press enter to exit
```

失敗例

```
C:\Windows\system32>echo off
Checking for admin privileges
Disabling EOL messages
この操作を正しく終了しました。
エラー: アクセスが拒否されました。
Failed to disable EOL messages
Press enter to exit
```

セキュリティアラートの非表示

- セキュリティアラートの非表示について

- suppressool.batを実行したあと、検出エンジンのアップデートもしくは再起動すると非表示が有効になります。
- **本件に関するセキュリティアラートは2021年3月15日21時まで非表示**となります。
※2021年3月15日21時以降はセキュリティアラートが表示されます。